

## 学校関係者評価

### 1 実施状況

(1) 平成30年2月26日(月) 13:00~14:30

(2) 参加者 学校評議員3名

(3) 方法

- ① 学校の自己評価を、参考資料をもとに校長が説明する。
- ② 学校評議員から関係者評価のコメントをいただく。

### 2 学校関係者評価

#### <学校評価全般について>

- これだけの資料を基に、詳細に細やかに評価していることそのものが、大きな評価に値している。
- 実に詳細に、そして、データだけではなく、個別の顔の見えるような資料の分析をしています。

#### <学習指導について>

- 「補習」の方法はどのような方法で行っていますか。  
校長：教師が声を掛けたり、参加したい生徒を募る場合もあります。
- ぜひ、「補習」は強化してほしいと思います。経済的に塾に通えない生徒のためにも、先生がたの負担にならないように、ぜひ「補習」を行ってください。
- そのヒントとして、牛島小の放課後学習教室の「補習」は、教員OBが行っていて、大変好評ですから、参考にしてください。とにかく、経済的な理由で、学習や部活動に支障が出てしまう生徒を救えるような方策を考えてくださると助かります。
- 昔あった相対評価は変でした。ぜひ、「絶対評価」のよさを生かして、生徒を評価してください。

#### <道徳の評価について>

- 道徳の評価は、保護者が子どもを見つめる視点にもなるので、教科化に伴って「評価」の方法は慎重に扱うことが大切であると思います。保護者に変なイメージを持たせないようにするためにも慎重に。
- したがって、道徳の評価は、3年に1回でもよいではありませんか。

### <PTA等・保護者や地域との関係や連携について>

- 子どもを親の所有物のように思っている親が増えてきているのを実感します。親は子どものよさを見つめるべきなのに、別の子どもと比較したり、学校で出した「金賞」に「これで金賞なのか？」という言葉が平気で言ったりするような感覚の保護者が存在することも残念です。
- 地域社会がよくなることは、自分がよくなること、自分の子どもがよくなることであると考え、様々な取組も地域で行っています。ぜひ、いっしょに東中校区の子どもたちをよりよくしてまいりましょう。
- 中学校は、小学校や高校、特別支援学校との結節点です。まとめ役です。そのことを十分踏まえて、東中校区の様々な機関との連携をお願いします。
- 地元の各競技のスポーツ少年団とも連携をお願いします。発達に課題のあるお子さんの指導を苦慮しているコーチ陣もいます。また、その子の親御さんとの関係に苦慮している場合もあります。相互協力できると助かります。